# スペシャルオリンピックス日本 2017 年第 2 回全国ユニファイドサッカー大会

日程: 2017年12月9日(土) - 10日(日)

会場: J-GREEN 堺



# 一 終了報告書 —

(2017年12月21日更新)



### 開催概要

スペシャルオリンピックス日本では 2 回目となるユニファイドスポーツの全国大会を 2017 年 12 月 9 日(土)、10 日 (日)の 2 日間、大阪府堺市の J-GREEN 堺にて開催いたしました。

ユニファイドスポーツ(Unified Sports®)は、知的障害のある人(アスリート)と知的障害のない人(パートナー)が同じチームで競技を行い、スポーツを通じてお互いの個性を理解し合い支え合う関係を築いていく取り組みです。

実施競技は 11 人制ユニファイドサッカーと 7 人制ユニファイドサッカーの 2 種目を行い、韓国からも 11 人制 1 チームが参加し、昨年より 2 チーム多い計 20 チームの参加となりました。昨年に引き続き参加頂いたチームも多く、競技レベル、チームワークが向上、レベルの高い試合が繰り広げられました。また、アスリートとパートナーの連携はもちろん、チームとしての一体感を昨年以上に強く感じる大会となりました。

アスリートとパートナーが同チームで競技を行うユニファイドスポーツを広くアピールでき、スポーツを通じたインクルージョン社会の実現に近づけた大会になりました。

大会名称	スペシャルオリンピックス日本 2017 年第 2 回全国ユニファイドサッカー大会			
	(略称)2017 年第 2 回全国ユニファイドサッカー大会			
開催期間	2017年12月9日(土)~ 10日(日) 2日間			
会場	堺市立サッカー・ナショナルトレーニングセンター J-GREEN 堺			
	(大阪府堺市堺区築港八幡町 145)			
実施競技	ユニファイドスポーツ® 11 人制サッカー/7 人制サッカー			
参加者	選手団 302 名			
	アスリート・パートナー 237 名/コーチ 65 名 (20 チーム:12 地区組織+SO 韓国)			
	11 人制ユニファイドサッカー 5 チーム(韓国 1 チーム含む)			
	7 人制ユニファイドサッカー 15 チーム			
ボランティア	延べ 384 名 (競技役員延べ 26 名、ボランティア延べ 358 名)			
観客	約 800 名			
来賓/ゲスト	竹山修身 様	(堺市長)		
	浮島智子 様	(衆議院議員)		
	薬師寺みちよ 様	(参議院議員)		
	佐藤章 様	(衆議院議員)※小谷修一秘書 代理出席		
	藤江陽子 様	(スポーツ庁 審議官)		
	吉見友弘 様	(スポーツ庁)		
	田所和之 様	(堺市教育委員会 教育次長)		
	竹内浩三 様	(特定非営利活動法人日本知的障がい者サッカー連盟 理事長)		
	齋藤紘一 様	(特定非営利活動法人日本知的障がい者サッカー連盟)		
	川瀬みどり 様	(公益社団法人日本サッカー協会)		
	渋谷茂樹 様	(公益財団法人笹川スポーツ財団)		
	小島智子 様	(スペシャルオリンピックス日本ドリームサポーター)		
	山本ゆうじ 様	(スペシャルオリンピックス日本ドリームサポーター)		
	永井義文 様	(大会サポーター/現役プロフットサル選手)		
	近藤岳登 様	(大会サポーター/現役プロサッカー選手)		
	学天即 様	(大会サポーター/吉本興業芸人)		
	あべこうじ 様	(大会サポーター/吉本興業芸人)		
	Allen Cheng kelun	( Special Olympics East Asia Regional Sports Director)		

主催	公益財団法人スペシャルオリンピックス日本					
主管	特定非営利活動法人スペシャルオリンピックス日本・大阪					
運営主体	スペシャルオリンピックス日本 2017 年第 2 回全国ユニファイドサッカー大会実行委員会					
助成	FIFA FOOTBALL FOR HOPE (独)日本スポーツ振興センタースポーツ振興くじ助成					
協賛	アディダス ジャパン(株)、(株)ユニクロ、 Anytime Fitness Japan、日本コカ・コ―ラ(株)					
	三井住友海上火災保険㈱、ビザ・ワールドワイド・ジャパン㈱、日本航空㈱					
	大和電気商工(株)、(株)あしすと阪急阪神、ダイキン工業労働組合					
	富士ゼッロクス大阪(株)、(株)産経新聞社					
個人寄付	小川節子、隅田喜郎、谷口美智代、築島肖吉、中村忠雄、西麻梨子、丸尾欽					
	山上和則、勢木俊二、森田洋子					
協力	吉本興業㈱、笑顔道整骨院グループ、TOMOKO KOJIMA CHEERDANCE ACADEMY 蓮風(和太鼓演奏)、富士ゼロックス大阪株式会社、 関西 Sete Estrelas(アンプティサッカーチーム)、大坂 PAZ(CP サッカーチーム)					
	<hap 協力企業="">アディダス ジャパン㈱、㈱アイウェアラボラトリー 、山本光学(株)</hap>					
後援	スポーツ庁、(公財)日本体育協会、(公財)日本オリンピック委員会、					
	(公財)日本障がい者スポーツ協会、(公財)笹川スポーツ財団、					
	(公財)日本サッカー協会、(公社)日本プロサッカーリーグ、(一社)大阪府サッカー協会、 (一社)日本障がい者サッカー連盟、(NPO)日本知的障がい者サッカー連盟、					
	大阪府、大阪府教育委員会、堺市、堺市教育委員会					
応援	合計枚制作 475 枚					
フラッグ	- 堺市立市小学校 150 枚					
	- 堺市立榎小学校 80 枚					
	- 堺市立安井小学校 125 枚					
	- 第3回JC カップU-11 少年少女サッカー全国大会 参加 12 チーム 120 枚					

## 2017 年スペシャルオリンピックス日本 第2回全国ユニファイドサッカー大会

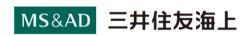
協賛















助成



スペシャルオリンピックス日本 ナショナルパートナー

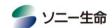


TOYOTA











## 来賓/ゲスト



堺市 市長 竹山修身様



衆議院議員 浮島智子様



参議院議員薬師寺みちよ様



佐藤章衆議院議員代理出席 小谷修一様



スポーツ庁 審議官 藤江陽子様



堺市教育委員会 教育次長 田所和之様



日本知的障がい者サッカー連盟 理事長 竹内浩三様



スペシャルオリンピックス日本ドリームサポーター
小島智子様



スペシャルオリンピックス日本ドリームサポーター 山本ゆうじ様



大会サポーター/現役フットサル選手 永井義文様



大会サポーター/現役プロサッカー選手 近藤岳登様



大会サポーター/吉本芸人 学天即様



大会サポーター/吉本芸人 あべこうじ様

## 競技記録/11 人制サッカー

#### ■ 基本概要

参加チーム: 5 チーム (2 地区+韓国)

参加者人数: 97人 (アスリート 40人、パートナー 37人、役員・コーチ 20人)

※ 試合は、アスリート6名、パートナー5名のチーム構成

#### ■ 競技結果

Division1 1 位 SO 韓国 (KOREA)

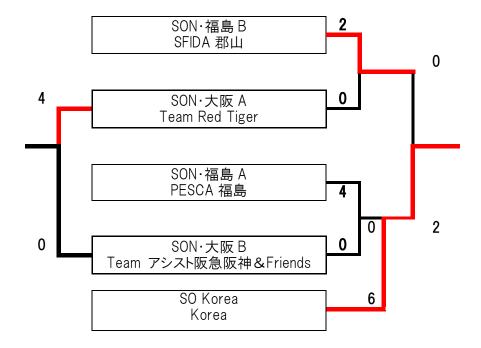
2位 SON·福島 B (SFIDA 福島)

3 位 SON·福島 A (PESCA 郡山)

4位 SON·大阪 A (Team Red Tiger)

5 位 SON·大阪 B (Team アシスト阪急阪神&Friends)













## 競技記録/7人制サッカー

#### ■ 基本概要

参加チーム: 15 チーム(11 地区)

参加者人数: 206 人 (アスリート 90 人、パートナー71 人、役員・コーチ 45 人)

※ 試合は、アスリート4名、パートナー3名のチーム構成

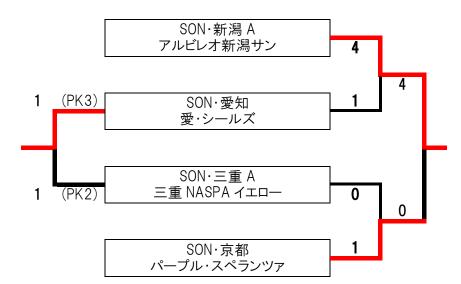
#### ■ 競技結果

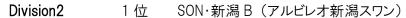
Division 1 位 SON·新潟 A (アルビレオ新潟サン)

2 位 SON·京都 (パープル·スペランツァ)

3 位 SON·愛知(愛·シールズ)

4 位 SON·三重 A (三重 NASPA イエロー)





2位 SON·福井(チームふくい)

3位 SON·長野 (Desafio·Lazo·Nagano)

	SON·新潟 B	SON·長野	SON·福井
SON・新潟 B (アルビレオ新 潟スワン)		2-2 2 PK 1	2-2 2 PK 1
SON·長野 (Desafio· Lazo· Nagano)	2-2 1 PK 2		0-1
SON・福井 (チームふく い)	2-2 1 PK 2	1-0	

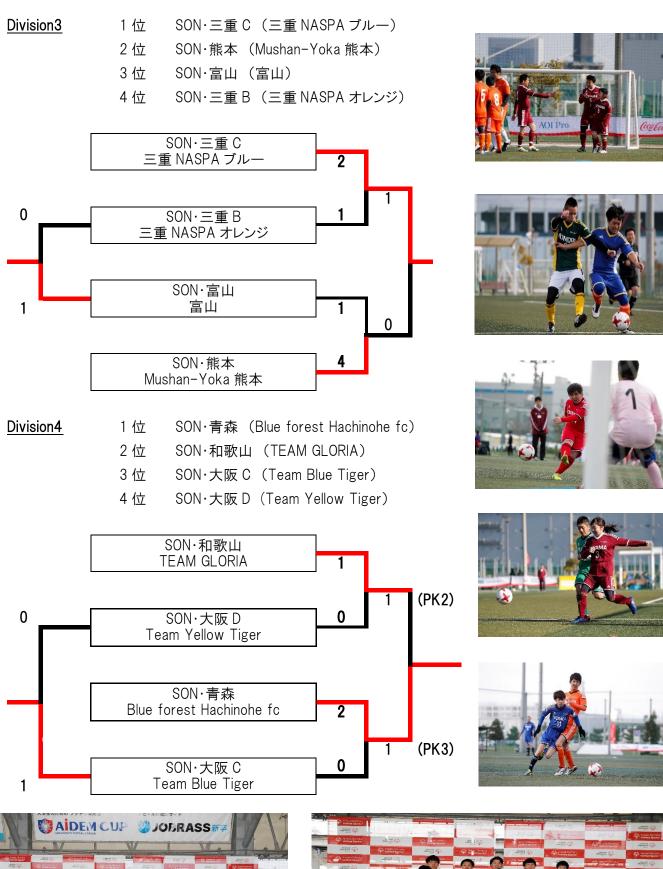
















## クーバー・コーチング・ジャパン

小学生以下の知的障害のある人とない人がペアとなってサッカーのトレーニングを行う「クーバー・コーチング・ジャパンユニファイドアカデミー」を開催しました。株式会社クーバー・コーチング・ジャパン様の協力のもと、当日は 20 人のお子さんが参加しました。







## インクルージョン・フットボール

様々な障がい者サッカーに触れ、サッカーを通じたインクルージョン社会の実現をめざした「インクルージョン・フットボール」を実施致しました。大会 2 日目に CP サッカーチーム、アンプティサッカー各 1 チームを招待し、公開練習を行って頂きました。 **〈C P サッカー**〉参加チーム:大坂 PAZ

ケガや病気による脳の損傷によって運動障害がある人が行うサッカーで、正式名称は脳性麻痺 7 人制サッカー 〈アンプティサッカー〉参加チーム:関西 Sete Estrelas

足や腕に切断障がいのある人が行う7人制サッカー







## HAP(ヘルシー・アスリート®・プログラム)

アスリートの健康とヘルスケア向上のための無料の健康診断プログラムで、今大会の参加者を対象として目の健康チェック(オープニングアイズ®)と足の測定(フィットフィート)の2部門を実施しました。2日間の受診者数は、359名で、検査結果を基にアイガードやサッカースパイク等のカウンセリングを行いました。

#### •オープニングアイズ®(目の健康チェック)







**■フィットフィート**(足の測定、シューズカウンセリング) ※シューズカウンセリングはアディダス ジャパン株式会社様の協力の下、行われました。







## SO ユニファイドストリート

SO ユニファイドアスリートでは、スペシャルオリンピックス日本と協賛企業のアディダス ジャパン様と日本コカ・コーラ様にブースを出展していただき、ゲームやノベリティグッズの配布を行いました。今大会に関わる人々に限定せず、J-Green 堺に来場した人々全員が参加いただき、大会やスペシャルオリンピックスの PR 活動を行いました。

#### ■ アディダス ジャパン株式会社







■ 日本コカ・コーラ株式会社







■ スペシャルオリンピックス日本ブース(2018 年夏季ナショナルゲーム愛知 PR,物販他)





## 応援フラッグ・アトラクション

会場に展示した堺市小学生が作成した応援フラッグは会場を色とりどり鮮やかに彩りました。また開催式にて披露されたチアリーディングのパフォーマンスと和太鼓演奏は、大会を盛り上げ、一生懸命練習を積み重ねてきたアスリートやパートナーにエールを送りました。







## 制作物

#### ■ 大会プログラム



■ チラシ / ポスター



■ スポンサーバナー





■ 大会サイト



■ スポンサーボード



■ スポンサーのぼり







公益財団法人スペシャルオリンピックス日本 〒105-0003 東京都港区西新橋 2-22-1 西新橋 2 丁目森ビル 7 階 Tel:03-6809-2034 / FAX:03-3436-3666